

(別紙5)

補助事業番号 28-1-088
補助事業名 平成28年度 学術・文化の振興のための活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 東京フィルメックス実行委員会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

近年映画を取り巻く環境は均一化し、質的に乏しい状況に陥っていることに対し、創造性溢れるアジアの映画作家の作品を通じて育成を促進し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

アジア映画のコンペティション

創造性溢れるアジアの文化の多様性の一端が窺える新人作家による10作品を選定し、コンペティションで上映した。ベテランの作品やイスラエル特集も上映。創造者と受容者の双方に映画史再考の機会を提供した。また若者への取り組みとして、学生審査員の立場で映画祭を体験させ、批評眼を養わせる機会を提供した。



2 予想される事業実施効果

■ 上映作品その後の展開

・ 日本映画作品

コンペティション上映作のうち「仁光の受難」(庭月野議啓監督)が、ロッテルダム国際映画祭に出品決定。

・ 外国映画作品

オープニング作品「The NET 網に囚われた男」(キム・ギドク監督)が平成29年1月に公開決定。コンペティション作品「私たち」(ユン・ガウン監督)、特別招待作品「苦い銭」(ワン・ビン監督)が平成29年に公開決定。

■ (継続)学生自治主体との協働、教育機関との連携

(別紙5)

過去数年実地している、大学との連携を引き続き実地した。

多摩美術大学、日本大学芸術学部、慶應義塾大学の団体鑑賞を実地し、日本映画大学からインターン1名（広報担当）を受け入れた。また学生によるサークル東京学生映画祭により「学生審査員賞」も継続した（「普通の家族」が受賞）。こうした連携を通じて、若い学生による主体的な映画や芸術、ひいては社会的な取り組みへの参加を望んでいる。

■（継続）バリアフリーへの取り組み

過去に貴会からはヒアリング等を通じてまた他のステークホルダーから本事業における「映画の社会的な取り組み」についてご意見を踏まえ、平成23年開始した聴覚障がい者向けのバリアフリー上映を今年も実地した（「野火」）。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

対象経費使用なし

★★★★★◆◆◆◆◆ (URL)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

ポスター	200枚
チラシ	70,000枚
リーフレット	4,000部
カタログ	1,700部

☆☆☆☆☆◆◆◆◆◆ (URL)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人東京フィルムメックス実行委員会（トクテイヒエイリカツドウホウジントウキョウフィルムメックスジッコウイインカイ）

住所： 〒107-0052

東京都港区赤坂5-4-14トレード赤坂ビル3F

代表者： 理事長 森昌行（リジチョウ モリ マサユキ）

担当部署： 事務局（ジムキョク）

担当者名： 事務局スタッフ 金谷重朗（カナヤ シゲオ）

電話番号： 03-3560-6393

F A X: 03-3586-0201

E-mail: canalla@filmex.net

U R L: <http://filmex.net/>